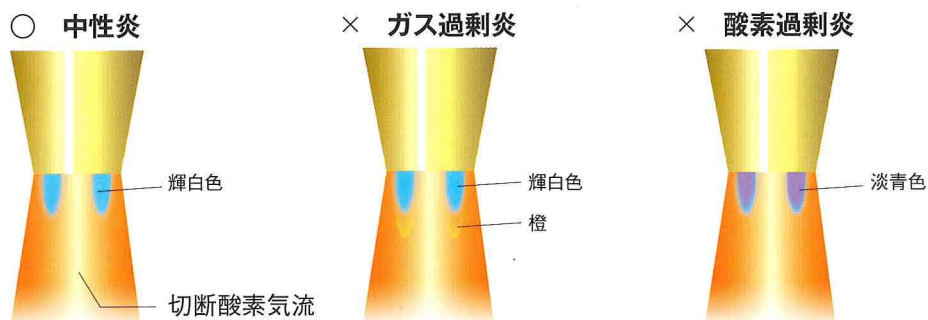


1 点火及び消火方法

1. 点 火

燃料ガスバルブを約1/2回転左に回して点火専用ライターで点火し、続いて予熱酸素バルブを開いて下図のような中性炎に調整してください。
さらに炎を大きく、強くしたいときには燃料ガスバルブをさらに左に回して燃料ガスを多く出し、次に予熱酸素バルブを左に回して中性炎になるよう調整してください。



2. 消 火

次の順序でバルブを閉じてください。

切断酸素バルブを閉じてください。 ➡ 予熱酸素バルブを閉じてください。 ➡ 燃料ガスバルブを閉じてください。

2 逆火について

1. 逆 火

火口や吹管の取り扱い方法が悪いと、「パチパチ」と炎が音を立てたり、あるいは「パーン」と大きな音を出して逆火します。

2. フラッシュバック

原因は逆火と同じですが、その度合が大きく「キューン」と音を立て吹管内部まで火炎が戻る現象です。

警告 逆火、フラッシュバックが発生した時は、以下の手順で対処してください。

- ①急いで予熱酸素バルブを閉じる。
- ②燃料ガスバルブを閉じる。
- ③切断酸素バルブを閉じる。

全てのバルブを閉じた後、右記に示す原因をチェックして修復の後、正しい操作で切断作業を行ってください。

警告 逆火を起こした吹管は、その原因を取り除いてから使用してください。

逆火は次のような時に起こります。

- ①火口と鉄板が接触したとき。
- ②火口が過熱したとき。
- ③火口の孔にスケールなどがついたとき。
- ④吹管と火口との当り面にキズがついていたり、あるいは火口の締め付けが足りないとき。
- ⑤極端に小さな炎に調節したとき。

●吹管

1. ポータブル切断機には

名 称	燃料ガス	全長mm	ラック	この吹管を使用する自動機	使用火口
HC-311	アセチレン L P G	100	無	KT-57N	3240G 3250B
HC-312-S1	アセチレン L P G	120	無	KT-230	3040G 3051
HC-312	アセチレン L P G	102	無	KT-5NX KT-8XB KT-160NII(同芯形)	3040G 3051
HC-315	アセチレン L P G	102	有		3040G 3051
HC316	アセチレン L P G	140	有	KT-45 KT-30-4, KT-30-6	3040G 3051
HC-317	アセチレン L P G	180	有	KT-350NII	3040G 3051
HC-311M	アセチレン L P G	185	無	KT-74M KT-74L	3240M 3250M
LC-250	アセチレン	70	無	KT-160NII(異芯形)	4531(切断) 4520(加熱)
LC-251	L P G				4530(切断) 4550(加熱)

2. 厚物ポータブル切断機には

名 称	燃料ガス	全長mm	ラック	この吹管を使用する自動機	使用火口
HC-402M	L P G	273	無	KT-5NX、KT-8XB	4155 4157
HC-403M		326	有	KT-8XB	
HC-404M		426			
HC-405M		526			
HC-413M		442	有		
HC-414M	792				
HC-415M	1,492				
HC-312E	L P G	140	無	KT-5NX、KT-8XB、 切断酸素6φ	3040G #6~7 3051 #6~7
					3051F #150 #200
HC-312F	L P G	262	無	KT-8XB、切断酸素10φ	3051F #150 #300